流れでつかむ 日本の歴史

明治時代の年表

文明開化と近代の文化

西洋を取り入れ、だれが何を生んだか

1872 ● **文明開化**
定義と時期
明治時代初期に、西洋の文化や生活様式、制度が積極的に取り入れられ、日本社会が急速に近代化した現象を文明開化という。

1872 ● **学制の公布**
制度の公布
1872年、明治政府は日本で最初の近代的な学校制度である学制を公布した。

1872 ● **学問のすゝめ** 福沢諭吉
主要な思想・メッセージ
『天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず』という一節で、個人の独立と学問の重要性を説いた。

1883 ● **鹿鳴館と欧化政策** 井上馨
建設の目的
明治政府が不平等条約の改正を有利に進めるため、欧米諸国に日本の近代化を示す欧化政策の象徴として建設された。

1890 ● **舞姫** 森鴎外
作者と執筆背景
舞姫は、明治時代に森鴎外が自身のドイツ留学の経験をもとに執筆した小説です。

1894 ● **ペスト菌の発見** 北里柴三郎
主な業績
北里柴三郎は、感染症の分野でペスト菌を発見し、また破傷風の血清療法を開発した。

1897 ● **西洋画『湖畔』** 黒田清輝
作者と影響
明治時代にフランスで洋画を学び、代表作「湖畔」などで知られる画家は黒田清輝である。彼は印象派の影響を受けた。

1900 ● **女子英学塾** 津田梅子
創設者と背景
岩倉使節団に最年少の女子留学生としてアメリカへ留学し、帰国後に女子英学塾を創設したのは津田梅子である。

1904 ● **君死にたまふことなかれ** 与謝野晶子
作者と発表された戦争
与謝野晶子が、弟の出征をきっかけに日露戦争の悲惨さを訴えるために発表した詩。

1907 ● **義務教育が6年に**
期間の延長と背景
国力増強を目指す中で、1907年には義務教育の期間が4年間から6年間に延長され、日露戦争後の社会を支える人材育成が図られた。

西洋の制度を取り入れる中で学校制度ができる

欧米の思想が紹介され独立の精神が広まる

欧米への留学が近代文学を生み出す

教育の広がりが女子高等教育の道をひらく

国力を高めるため就学期間が4年から6年へ

原因 → 結果　★ 入試頻出（過去問トップ20）　制度・政策　人物と作品　学問・科学

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「歴史年表」のプリント一覧がひらきます